



健康と温泉フォーラム
第99回月例研究会



「コロナ新時代の温泉地の活性化、リモートワークとその現状を探る」

温泉地とリモートワーク 官・民の地域づくりの立場での課題と提言- 2

2021年5月18日(火)

公益財団法人日本交通公社
観光政策研究部 主任研究員
福永 香織



公益財団法人 日本交通公社

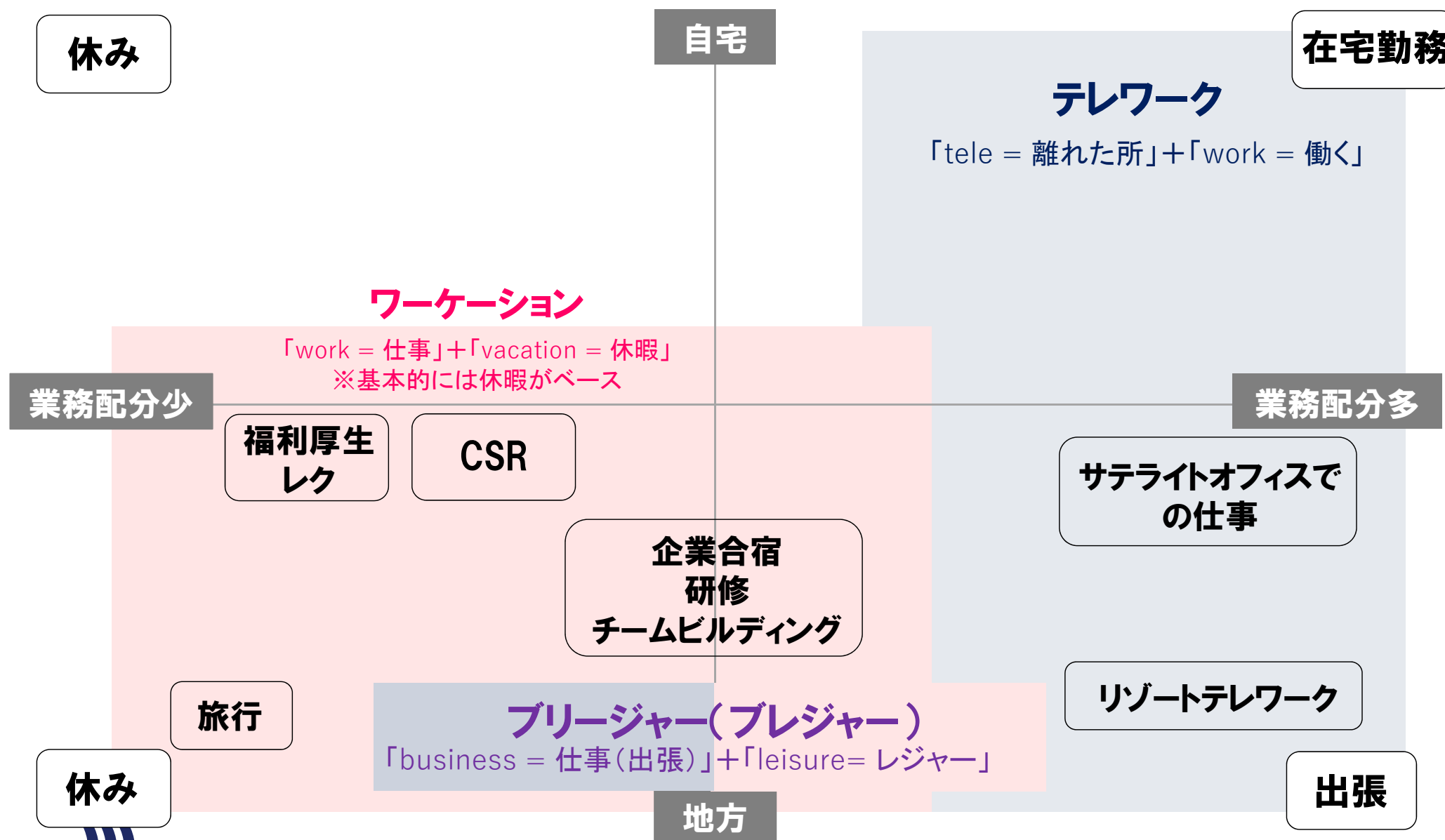
今日の流れ

1. ワークেশョンの言葉の整理と意義
2. ワークেশョンの背景にあるマーケットの変化
3. ファミリーワークেশョンの取り組み事例
4. ファミリーワークেশョンの取り組みを通して見えること
5. まとめ



ワーケーションに取り組む意義と目的（言葉の整理）

✓ 「ワーケーション」の捉え方は地域、人、企業によっても様々。特に区別せずに議論されている例も。



ワーケーションに取り組む意義と目的（温泉地の例）

- ✓ ワーケーションの先にあるものを見据えて取り組む必要性（取り組み主体によってその目的も異なる）
- ✓ 1泊2日の滞在を基本とする温泉地から長期滞在したくなる温泉地へ
 - 滞在日数の延長、平日需要の増加に向けた一手段としてのワーケーション
 - 地域の課題やビジョンを実現するための一手段としてのワーケーション

ライフスタイルの考え方の変化（働き方・居住環境、休暇のあり方）

ターゲットの考え方

- ☐ 長期滞在するインバウンド
- ☐ 働き方やライフスタイルが変わりつつある日本人
- ☐ 旅行牽引層の世代交代
- ☐ 企業との関係性
- ☐ 地元・周辺住民

→ターゲットの価値観の変化に注目

ワーケーション （地域）

長期滞在
に耐えられる
温泉地のあり方

リゾート・滞在要素の拡大

- ☐ 温泉の効能を活かした滞在（湯治）
- ☐ 何もしなくてもいなくなる空間
- ☐ サードプレイス（居場所）の整備
- ☐ 憧れの対象となりうるライフスタイル
- ☐ リゾートに連動したアクティビティ・プログラム
- ☐ 長期滞在に伴う滞在エリアの拡大

→どんな長期滞在（過ごし方）ができるか？

インフラの見直し

- ☐ 二次交通の整備
- ☐ IT環境整備
- ☐ 遊休施設の活用・リノベーション
- ☐ スーパー、薬局、図書館などの生活施設
- ☐ 託児所、医療機関等の充実・連携

→生活空間の機能＋デザイン性の向上

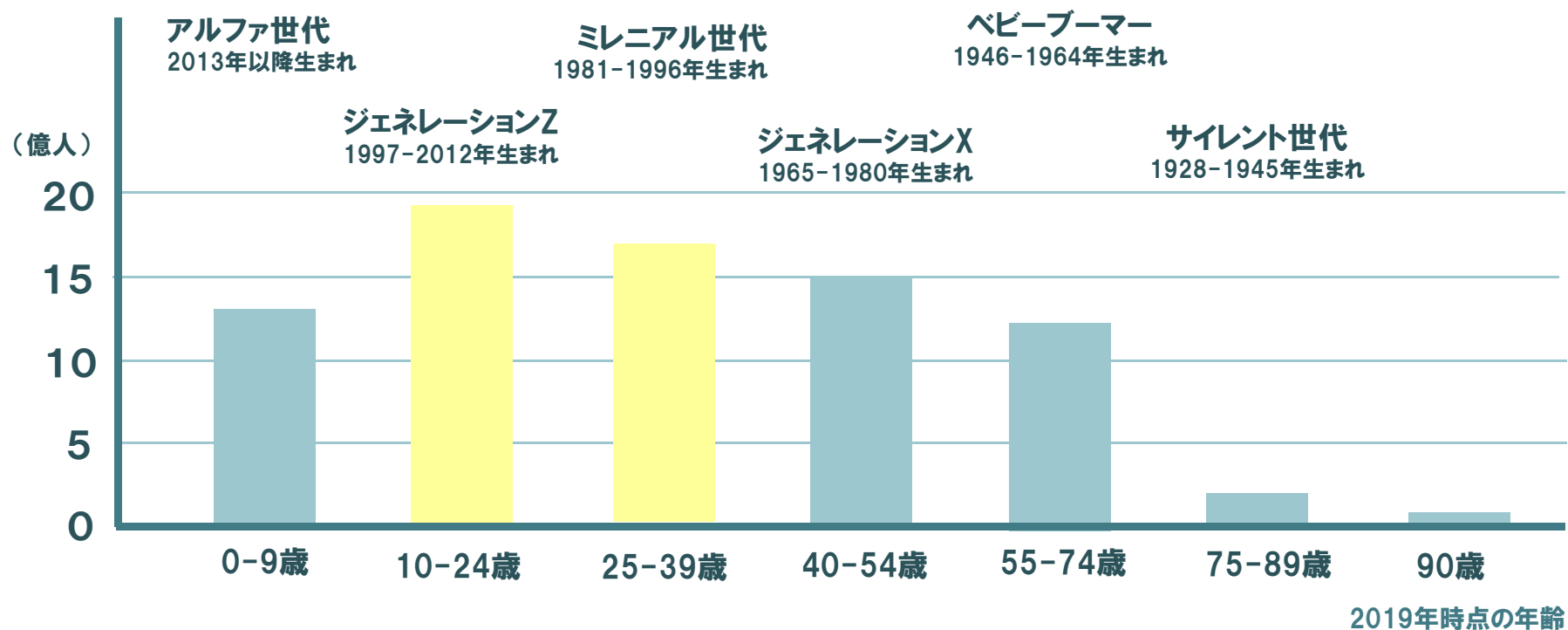
観光と生活要素
の融合

観光客・住民にとって滞在魅力のある温泉地→ブランド力の向上



ワーケーションの背景にあるマーケットの変化

- ✓ ジェネレーションZやミレニアル世代等のデジタルネイティブ世代が旅行者の中心へ。
- ✓ 今後の旅行を牽引する若者の旅行スタイルや働き方などの価値観の変化。
- ✓ 関係人口も含め、地域とつながりのある人は複雑で多様に



出典: 経済産業省「スマートリゾートハンドブック」2020年3月

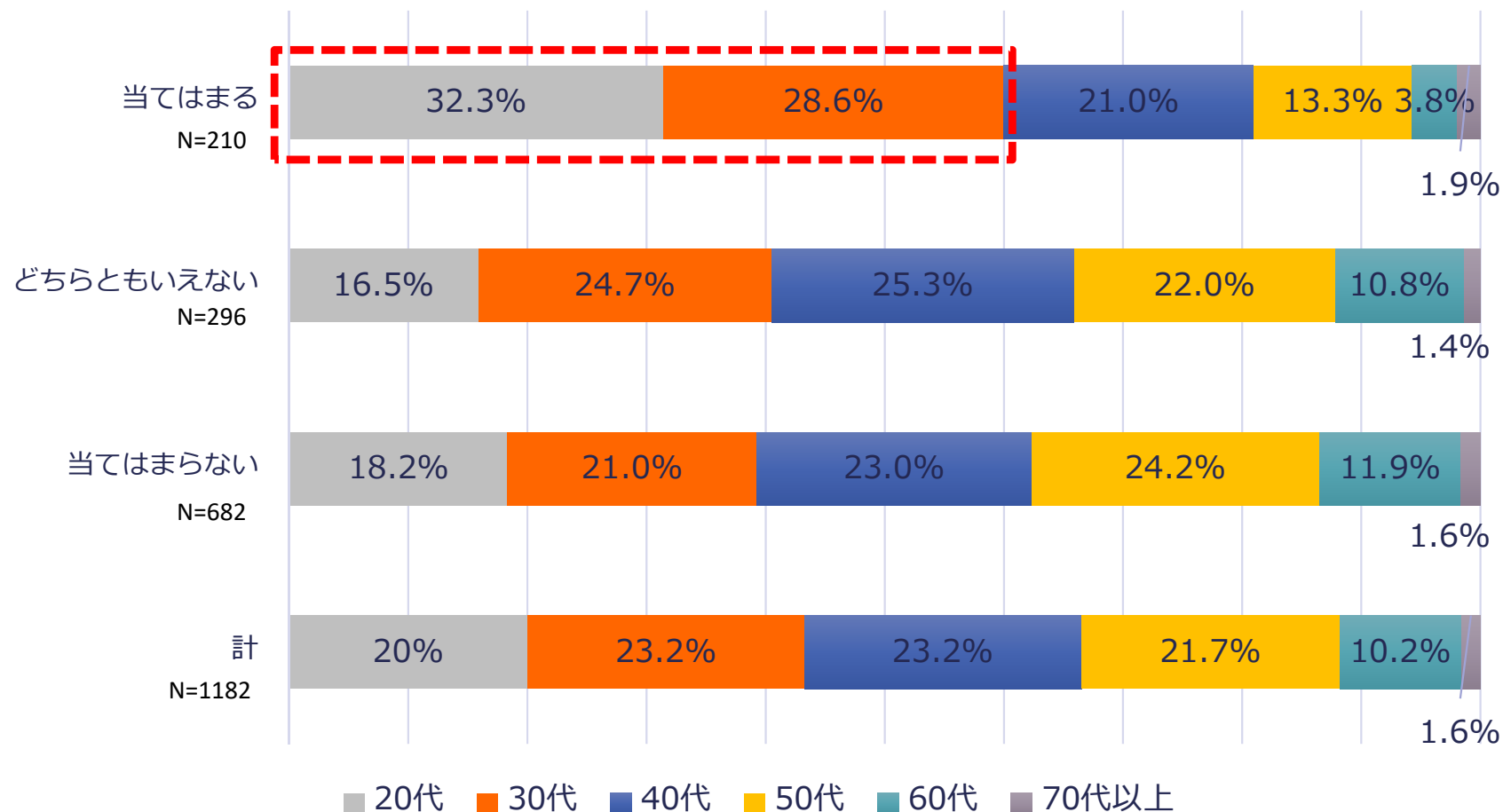
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/creative/downloadfiles/fy31/handbook2.pdf



ワーケーションの背景にあるマーケットの変化

- ✓ ワーケーションが旅行のきっかけになる(当てはまる)と回答したのは全体の18%。
- ✓ 若い世代でワーケーションが旅行のきっかけになる傾向
- ✓ 一方、主に30代は子育て世代。女性も男性も長期間家を空けづらい。

旅行に行こうと思うきっかけ – ワーケーション等をするため

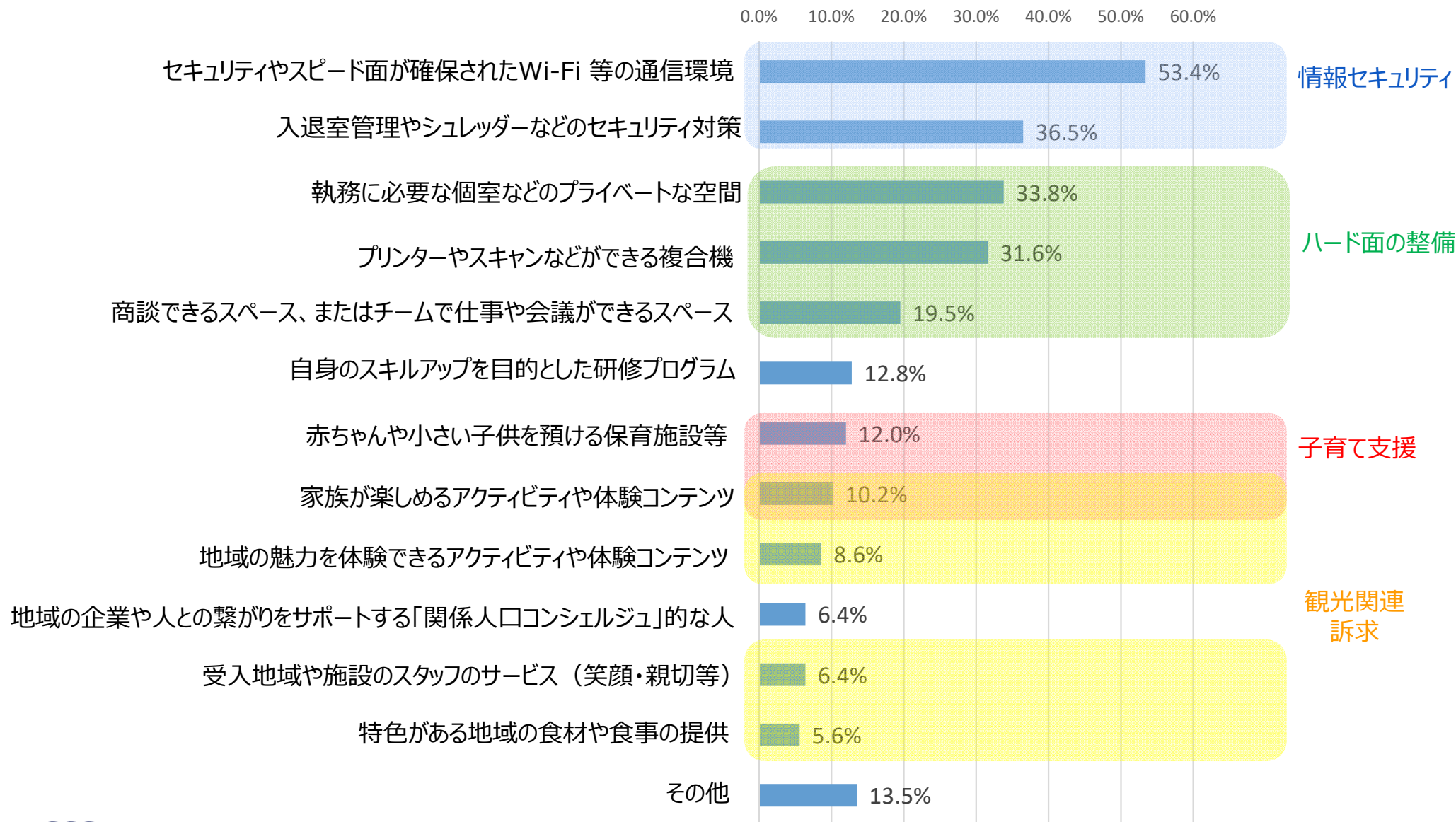


出典：公益財団法人日本交通公社独自調査（2020年9月実施）



ワーケーションの背景にあるマーケットの変化

「ワーケーション」導入において、受入地域や施設に整備してほしいこと



出典：観光庁「新たな旅のスタイル」に関する 従業員向けアンケート調査

https://www.mlit.go.jp/kankocho/workationbleisure/img/wb_pamphlet_corporate.pdf?fsi=pn3RLR5D

https://www.mlit.go.jp/kankocho/workation-bleisure/img/wb_pamphlet_corporate.pdf



公益財団法人 日本交通公社

Copyright (C) 2021 JTBF all rights reserved

ファミリーワーケーション（鳥羽市扇芳閣の取り組み）

- ✓ 三重県鳥羽市にある扇芳閣では、2020年10月より「世界中の子育て家族から最も愛される旅館になる」を新たなビジョンとして掲げ、旅館の経営改革を実施。
- ✓ 「コロナ禍で増加するワークスペースの多くが単身利用者向けである」という現状に鑑み、子育て世帯にも生産的にテレワークに取り組んでいただき、また、外出自粛のストレスを解消いただくため『1日1組限定 | 温泉でファミリーワーケーションプラン』のモニターツアーを実施。

『1日1組限定 | 温泉でファミリーワーケーションプラン』



モニターの様子（提供：扇芳閣）

●対象

抽選で5家族様

（1家族は、未就学児含む子供3人、大人2人まで）

●期間

【募集期間】2021年3月15日から3月25日まで

【宿泊期間】2021年3月15日から4月30日まで

●内容

- ・「託児サービス」
- ・「宿泊部屋の隣にもう1部屋（仕事部屋）」
- ・「部屋食」
- ・「専用露天風呂付部屋」
- ・三重の地ビール（またはソフトドリンク）をご提供

●料金

無料（モニター終了後に金額を検討）



ファミリーワーケーション（鳥羽市扇芳閣の取り組み）

●託児について

- ✓ 鳥羽市ワーケーション等推進事業「ワークスペース整備事業補助金」を受けてワーク＆託児スペースの整備等を実施。
- ✓ 託児スペースは「鳥羽市子育て支援センター」のアドバイスをを受けて整備。
- ✓ 託児は、宿のスタッフで保育士や教員、看護師の資格を持っている方で対応。新たに、スタッフの保育士資格取得も支援

●ワーク支援とターゲットについて

- ✓ プランでは宿泊部屋の隣に仕事部屋を用意
- ✓ 外に持ち出し可能なWi-fiルーターやモニター画面、ケーブルや変換コード、ホワイトボード等の機器も用意。



託児中の様子(提供:扇芳閣)



「めだかの学校」(旅館としては全国初となる自然保護施設。CSR活動の一環で整備)

出典:扇芳閣公式サイトより

https://www.senpokaku.com/databox/data.php/medakanogakko_ja/code



ファミリーワーケーション（鳥羽市の取り組み）

- ✓ 鳥羽市では、鳥羽市ワーケーション等推進事業「ワークスペース整備事業補助金」を実施しており、市内各所でワーケーションの受け入れ整備が進んでいる。
- ✓ 扇芳閣の近隣でも、空き家を活用したワークスペースの整備やカフェのオープンなども進んでいる。
- ✓ プランのモニター参加者は扇芳閣内で用意された部屋の他、近隣のカフェや公園も利用。
- ✓ 一方で、観光地にありがちな特定の曜日（火曜・水曜等）に休業日が重複している点、ホテルや旅館以外にオンライン会議に対応できるスペースがない（チェックアウト後）こと、二次交通等は課題。



KUBOKURIカフェ「N3Coffee」
※1階奥にはKUBOKURキッチン「花清水」
2階はシェアオフィス
<https://tobanakamachi.com/rentalspace-kubokuri>



アワヘイ明治蔵
シェアオフィス
※元々、蔵として使っていたものをワークスペースとして改装



ファミリーワーケーション（鳥羽市扇芳閣の取り組み）

●参加者の反応

- ✓ 300件の申し込みがあり、北は仙台から南は福岡まで、遠方からでもニーズがあることが判明。小学生以上の子供を持つ親からの問い合わせも多数あった。
- ✓ 申し込んだ家族とは別に祖父母も参加したい（別途自己負担）ということで3世代での利用になった家族もあった。
- ✓ 参加した家族の親は、託児中ずっと仕事をしていた訳ではなく、温泉にゆっくり入ったり、おじいちゃんおばあちゃんとお茶を楽しんでいた時間もあった。
- ✓ まちなかのカフェ以外にも公園に散歩したりと、普段の観光では見過ごされがちなスポットも立ち寄り先に。



鳥羽湾が臨める城山公園

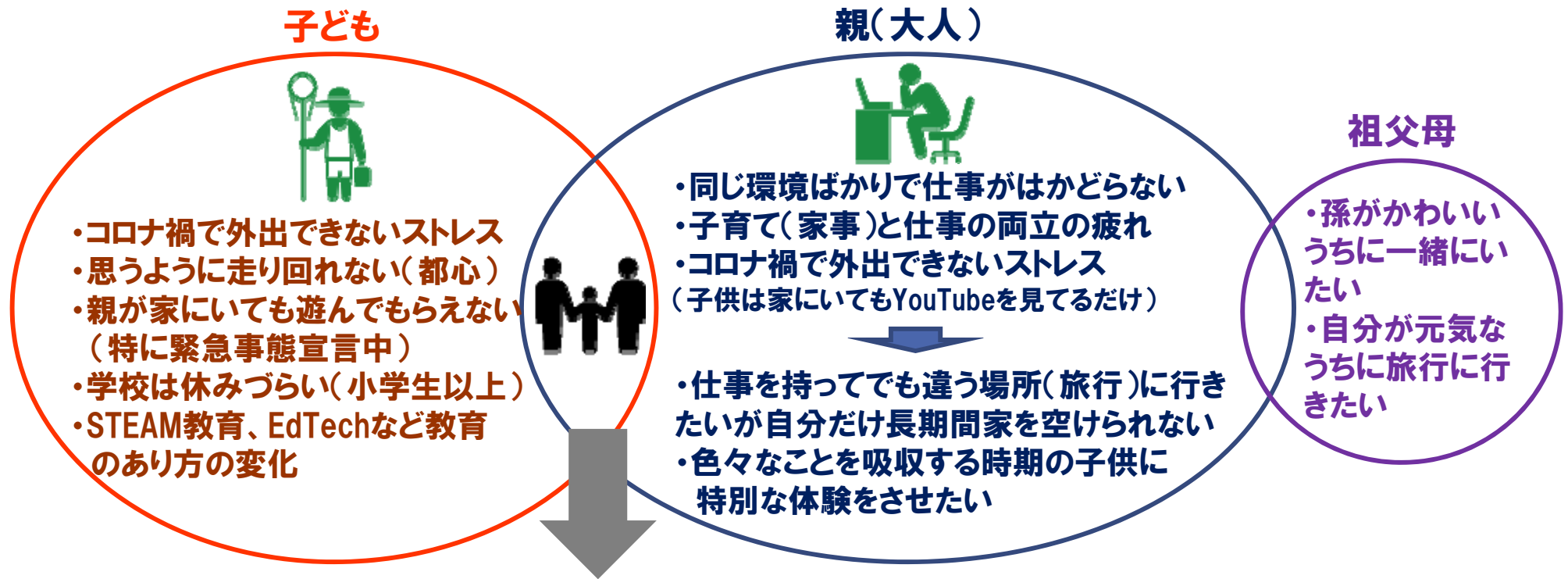


●今後の方針（扇芳閣谷口氏）

- ワーケーションといっても仕事だけではなく、**ゆっくりしたい、リラックスしたいニーズ**がある
- 今後は3世代や複数家族等による6人～12人程度の旅行が増えてくるのではないかと。一方で、**3世代向けの宿泊プランは全国の宿泊プラン全体の1%に満たない。複数家族が使いやすい部屋も少ない。**
- これまで男性ばかり（しかも育児に参画しない）で旅館やホテルのあり方を考えてきた時代においては、**子育てや家族の需要が宿づくりに十分に反映されていないのではないかと。**
- 今後、扇芳閣では3部屋をつなげて1部屋に改装した複数家族向けの部屋を増やす予定。



ワーケーションの背景にある家族の実態



- ✓ 気軽な託児サービス(海外では子供を預けるのは一般的だが日本はまだ)があるとよい
- ✓ 子供にとっても、その土地でしか体験できないことがある(ある意味、親にとっての大義名分に)

- ✓ 旅行に行けない弊害をクリアできる可能性の高いワーケーション
=その観点から重要なのは、旅行先・滞在先としての魅力があるかどうか。
- ✓ リゾー的な滞在スタイルに慣れていない現代の日本人に、長期滞在、バカンス的な過ごし方が定着するきっかけになる！?
- ✓ 仕事も子育ても旅行も犠牲にしない支援が必要。「自己実現」を若い時から重視している。

※STEAM教育: Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Art(芸術・リベラルアーツ)、Mathematics(数学)
※EdTech: 教育(Education)× テクノロジー(Technology)



ファミリーワーケーションの取り組みを通して見えること

自己実現、場所に捉われない働き方・ライフスタイルを実現する一手段

●親子ワーケーション部 by Next Style Lab

～地域で親子ワーケーションを自走させるためのサポート～

- ✓ **まだ見ぬ顧客価値の創造と実現を目指す**毎日みらい創造ラボ（毎日新聞社×メディアドゥホールディングス×ブロードバンドタワー）がプロジェクトとして立ち上げ。
- ✓ 旅先で親がリモートワークをしている間に子どもがその場所でしかできない体験をして成長する「親子ワーケーション」を中心に、複業/パラレルキャリアや地方移住のチャレンジを推進。
- ✓ 親子ワーケーションを自走させるため、啓発（認知度向上、ニーズ掘り起こし）、コミュニティ形成、企画運営、情報発信などを実施



<https://mirailab.tech/project/3nd68tbegu>

●一般社団法人みつめる旅

～普段より、子どもは楽しく、親はラクな「子連れワーケーション」を！～

- ✓ 五島ファンの理事4人が全員本業を持ちながら、副業として**ワーケーションをはじめとした関係人口創出事業に取り組んでいる団体**
- ✓ 「島ぐらしワーケーション in GOTO」などを企画・運営
- ✓ ニーズに応じた「保育園の一時利用」「小学校の体験入学」「アウトドアスクール」「見守りサービス」「島あそび体験」「島しごと体験」などを地域と協力して用意。

※詳細は <https://mitsutabi.jp/> <https://www.miraikosou20-openlabo.go.jp/event/pdf/7-2.pdf>



まとめ

●ワーケーションの背景にあるマーケットの変化

- ✓ ワーケーションとわざわざ言わなくても、「旅行の合間に仕事をしている人」は従来から存在
- ✓ **仕事と旅行の線引きは曖昧に**。これまでも存在していた「旅行の合間に仕事をしている人／したい人」が今後増えてくる。
- ✓ ワーケーションをする／したい人たちを通して見えるもの
 - **働き方、ライフスタイル、子育て、旅行などの価値観が変わっている**(データだけに頼らない)
 - こうした**変化に地域や宿はどう向き合うか、今後メインになってくるマーケットの特性やニーズを把握し、どういった層をターゲットとして考えるか。供給側は固定概念から要脱却**
- ✓ 何のためにワーケーションに取り組むか(ワーケーションはツール)

●旅行先・滞在先としての魅力

- ✓ 仕事環境の充実も必要かもしれないが、旅行先・滞在先としての魅力があるかどうか。
- ✓ ぼーっとする時間、普段とは違う場所に身を置くことは仕事にも効果的
- ✓ マーケットのニーズをふまえつつ、**宿や地域なりの経験価値、つながりをどう創出できるか**

●情報の集約と発信

- ✓ ニーズや形態が細分化されてくる中で、ワンストップ窓口的に対応できる組織、人もしくは情報が集約されたサイト等が必要。
- ✓ **宿や地域なりの経験価値をどう発信するか。**





由布院温泉でのワーケーション



白馬村(白馬縦の木ホテル The Forest)でのワーケーション

ありがとうございました！



奄美大島でのワーケーション



有馬温泉 念仏寺内カフェでのワーケーション

